



## 中小企業の賃金改定に関する調査

## 賃上げ率3%台半ば

日本・東京商工会議所は6月5日、「中小企業の賃金改定に関する調査」の結果を公表した。同調査は、物価上昇や人手不足を背景に賃上げの機運が高まり、雇用の7割を支える中小企業の賃上げへの関心が高まる中、中小企業の賃上げの実態を詳細に把握し、今後の要望活動に生かしていくために実施した。日商・東商が中小企業の賃上げ額・賃上げ率を調査し公表するのは今回が初めて。調査期間は2024年4月19日～5月17日で、1979社が回答した。

正社員の賃上げ額（月給）は加重平均で9662円、賃上げ率は3.62%。従業員数20人以下の企業では8801円、3.34%だった。5%以上の賃上げを行った企業は2割強（全体24.7%、20

人以下23.5%）、4%以上の賃上げは3割強（全体35.8%、20人以下32.3%）となった。

パート・アルバイトの賃上げ額（時給）は加重平均で37.6円、賃上げ率は3.43%となった。従業員数20人以下の企業では、43.3円、3.88%だった。5%以上の賃上げを行った企業は3割近く（全体27.5%、20人以下29.7%）、4%以上の賃上げは4割超（全体43.6%、20人以下46.4%）と、大幅な賃上げを行う企業の割合が高い。

## 正社員の賃上げ【賃上げ額・率】

全体 n=1,586 20人以下 n=709

正社員(月給)	賃上げ額(加重平均)	賃上げ率(加重平均)
全体	9,662円	3.62%
20人以下	8,801円	3.34%

(参考) 連合2024春季生活競争第5回回答集計：300人未満の企業の賃上げ額11,889円、賃上げ率4.66%（加重平均）  
厚生労働省令和5年賃金改定状況調査結果：一般労働者およびパートタイム労働者の賃金上昇率2.5%（常用雇用者30人未満事業所）  
（令和4年6月と令和5年6月の両方に在籍していた労働者のみを対象とした集計）

## 新たな局面を迎えるわが国の観光に関する要望

## 観光立国実現へ地域経済の好循環構築を

日本商工会議所は6月21日、「新たな局面を迎えるわが国の観光に関する要望～地域を支える産業として観光が発展するために～」を取りまとめた。

地方から大都市への人口流出が依然として歯止めがかからない中で交流人口がもたらす経済波及効果などの観点から、地域社会・経済において観光が果たす役割はこれまで以上に重要となっている。一方、インバウンド需要は従来から課題視されている三大都市圏への偏在がますます加速し、オーバーツーリズム対策や地方誘客が急務だが、深刻化する人手不足により、労働集約型ビジネスモデルでの成長はもはや限界を迎えている。

今回の要望の主な柱は①地域経済の好循環を促す観光地域づくりの促進②地域に人と投資を呼び込む地域ブランディングの促進③観光産業の持続的発展に向けた環境整備——の3点。観光立国の実現や持続可能な観光地域づくりに向けて、地域の観光戦略に位置付けられた産業界や事業者のプロジェクトを支援する施策の充実・強化、地域一体となって取り組む地域ブランドの形成・活用の取り組み支援、観光需要の分散化・平準化などを求めている。

## 要望の主な柱

- I. 地域経済の好循環を促す観光地域づくりの促進
- II. 地域に人と投資を呼び込む地域ブランディングの促進
- III. 観光産業の持続的発展に向けた環境整備



## 東北六県連との懇談会

# 持続的成長の実現に向け意見交換

日本商工会議所は6月20～21日、宮城県仙台市で日商・東北六県商工会議所連合会懇談会、第737回常議員会・第303回議員総会などの諸会議を開催した。20日に開催した日商・東北六県連懇談会では、東北ブロック内の商工会議所会頭から、地域活性化に向けた取り組みや課題について発表。日商の小林健会頭は、「中小企業の成長と地域社会との共生を基軸に、日本経済の持続的な成長を実現していくことが、われわれに課された使命。克服しなければならない課題は山積しているが、日商としても皆さまと共に、地域経済の好循環による日本再生・変革に挑戦していく」と述べた。

日商・東北六県連懇談会には、東北ブロック商工会議所の会頭・副会頭を中心に、全国124商工会議所から234人が出席した。小林会頭は冒頭のあいさつで、「コロナ禍を乗り越え、社会経済活動が正常化したことで、中小企業における設備投資や賃上げなど前向きな動きも出てきている。商工会議所としては、こうした中小企業の自己変革に向けた挑戦をしっか

りと後押ししていかなければならない」と述べた。その後の意見発表では、東北ブロック6県の商工会議所から新岡常雄会頭（青森県・黒石）、花坂康太郎会頭（岩手県・宮古）、菅原昭彦会頭（宮城県・気仙沼）、渡部尚男会頭（秋田県・横手）、野川勝弘会頭（山形県・天童）、草野清貴会頭（福島県・相馬）が、各商工会議所の事業活動などについて発表を行った。

意見交換後に小林会頭は、地域活性化や人手不足などが課題となる中、食と祭りを絡めた地域活性化の取り組みやデジタルデータを活用した地域活性化策の検討、若手人材の育成、商工会議所職員の能力向上などの取り組みについて高く評価した。



全国の商工会議所から234人が参加

### 日本商工会議所発行の旬刊紙・月刊誌のご案内

## 会議所ニュース

日本商工会議所が月3回発行する新聞。日商や全国各地の商工会議所の政策提言や事業活動をはじめ、ビジネスに役立つ情報が満載です。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



月3回発行（1日、11日、21日）  
1部139円 年間購読料4,400円（送料・税込）

## 月刊石垣

日本商工会議所発行の月刊ビジネス情報誌。経営や地域活性化のヒントになる好事例を紹介する特集や各界で活躍する著名人の素顔に触れる「あの人を訪ねたい」など、厳選の企画・連載が目白押しです。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



毎月10日発行  
1部535円 年間購読料5,700円（送料・税込）



日商 ASSIST Biz



お問い合わせ先

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。